

第9回福祉医療常任委員会 要点記録

開閉会日時	平成30年11月12日(月曜日)			開会	9:53	会議場所	別海町議会 委員会室2		
				閉会	11:23				
委員の出欠	3 番	大内 省吾	出席	4 番	木嶋 悦寛	欠席	7 番	今西 和雄	出席
	12 番	戸田 憲悦	出席	13 番	中村 忠士	出席			
出席説明員	福祉部長		河嶋田鶴枝	病院事務長		大槻 祐二	福祉部次長		青柳 茂
	保健課長		干場 富夫	保健課主幹		伊沢 珠美	病院事務課主幹		石戸谷友絵
	保険課主査		畠澤みどり	病院事務課主査		西田 和弘			
委員外の出席									
事務局職員	事務局長		浦山 吉人	事務局主幹		松本 博史			
傍聴者数	一般		0名	報道関係者		0名	合計	0名	

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過
委員長 12 番 戸田	9:53 開会 開催概要説明 出席委員4名、欠席委員0名、委員外1名
委員長 12 番 戸田	開会あいさつ 【町立別海病院】 本日、調査案件は予定されていないが、報告事項等あれば報告願う。
町立別海病院事務長 大槻	内容説明 ・医師確保の状況については、前回の委員会報告の時点から特に状況は変わっておらず、今後とも内科医師等確保に向けて関係機関と連携して取り組んでいく。 ・インフルエンザの予防接種を11月1日から実施。予防接種受診者は順調に推移している。現在のところインフルエンザ罹患者は確認されていない。 ・年末から年始にかけて11連休となることから、昨年同様1月4日（金）に本院のみ開院することとした。 ・来年のゴールデンウィークも10連休となることから、5月2日（木）を本院のみ開院することについて現在検討中である。 ・前回の委員会（10月11日開催）時に提出を求められた9月6日の地震による停電の際の対応経過について、資料により説明する。
委員長 12 番 戸田	質疑なし
	休憩 10:12 再開 10:24 【福祉部に係る調査】
委員長 12 番 戸田	議事1 所管事務調査について
福祉部長 河嶋	概要説明 ・調査事項について ・福祉灯油助成事業実施の方向性について
委員長 12 番 戸田	(1)いのちを支える別海町自殺対策行動計画について
保健課長 干場	計画の概要を説明 ・第1章 計画策定にあたって ・第2章 別海町の現状 ・第3章 これまでの取組 ・第4章 自殺対策における取組 ・第5章 自殺対策の推進体制等
委員長 12 番 戸田	質疑

第9回福祉医療常任委員会 要点記録

委員 13 番 中村	<p>①別海町は自殺が多い傾向にあり、職種別の傾向などは行動計画に示されているが、そもそもなぜ多いのかについては表現として示されていない。対策を打つためにはその究明が必要ではないか。</p> <p>②自殺と統合失調症との関連を聞くことが多いが、関係性について分析されているか。</p> <p>①自殺については、いろいろ要因があり一様ではない。それらの要因を減らしていくためにも、研修、周知、啓発などの活動を進めていきたい。</p> <p>②統合失調症とうつ病は異なるものであり、うつ状態にある人に自殺が多いという傾向は少なからずある。しかし、病院にも行けない状態の方が自殺をするということもあり、自殺との因果関係をつかむこと自体が難しい。計画書に掲載の数値は、警察庁がプロファイリングしたデータが町に送付されたもので、町が直接数値を追うことは困難である。町（保健課）では、自殺願望者の相談に応じる場合があるが、一つの要因ではなく複合的な要素がある場合がほとんどである。傾向だけ言えば、アルコールの多量飲酒者（依存者）に自殺割合が高いという数値結果はあるが、その背景を知ることが大事である。</p> <p>・例えば男性の自殺比率が高い。では男性の背景がどうなっているのか。自殺未遂者の割合も高い。何故なのか。それらのことを調べていく必要はないか。その辺についてご意見があれば伺いたい。</p> <p>・個人情報保護という観点から、自殺未遂の背景を町で確認することは難しい。計画書の数値も警察庁から示されたものである。今後は、協議会組織の中で情報を共有や点検を行いたいと考えている。</p> <p>①計画策定懇話会というのは、計画を策定するための組織か。また、この行動計画で特定された対策は、計画で示されている「おせっかいキャラクター」の行動にどのようにつなげていくのか。</p> <p>②役場部署内や懇話会を構成する委員それぞれの組織の中でも、検討組織を作るなどの取り組みが必要ではないか。</p> <p>①この行動計画を策定するための懇話会組織である。来年以降、懇話会組織から協議会組織を立ち上げ、啓蒙を深め、地域の人達が身近な人たちの変化に気付き、声をかけたり、見守るような、いわゆる「おせっかいキャラクター」になっていただくことを理想としている。</p> <p>②懇話会を構成する委員の組織などにも研修等を促していきたい。</p> <p>・個人情報の壁があるが、その辺の兼ね合いも含めて検討していただきたい。</p> <p>・情報の収集は、連携の中で進めていきたい。</p> <p>・自殺未遂者のその後の動向などは調査しているのか。</p> <p>・自殺未遂者の数字は、この数字のみが警察庁から示されたものであり、町によるその後の調査というのは困難である。</p> <p>・亡くなった方が、自殺の原因と理由をしっかりと残し、かつ家族の理解のもとに公表があつてはじめて調査をし、結果を数値化できるものであり、個人情報保護の観点から容易ではない。ただし、一定の情報を警察から得られるため、その数字などをもとに計画を策定しているもの。自殺対策は、限られた職員だけでは難しいものであり、今回行動計画を策定することにより、全庁的な取り組みとしている。生きるための関連施策を互いに連携をして取り組むこととしていることを理解願いたい。</p>
保健課長 干場	
保健課成人保健担当主査 畠澤	
委員 13 番 中村	
保健課長 干場	
副委員長 7 番 今西	
保健課長 干場	
副委員長 7 番 今西	
保健課長 干場	
委員 3 番 大内	
保健課長 干場	
福祉部長 河嶋	
委員長 12 番 戸田	
委員長 12 番 戸田	

質疑なし

11:23 閉会